

## 第 2 回糸島市市民満足度調査の結果概要

### ◆調査概要

- ◎調査対象：20 歳以上の市民 2,000 人
- ◎調査方法：郵送配布・回収によるアンケート
- ◎調査期間：平成 26 年 12 月 26 日（金）から平成 27 年 1 月 19 日（月）まで
- ◎設 問 数：長期総合計画の 27 の政策及び 96 の施策をベースに 51 問を設定
- ◎回収結果：有効回収数 789 件、回収率 39.5%

### ◆糸島市での暮らし全般についての総合満足度

#### ➤ 10 点満点中 6.73 点（前回調査の 6.51 点から 0.22 ポイント増加）

※加重平均による算出（「無効・無回答」は、有効回答から除外して算出）

※参考比較：幸福実感に関する国・県の調査及び第 1 回糸島市市民満足度調査

区分	点数	調査名	備考
国	6.41	H23 国民生活 選好度調査	◎どの程度幸せかを問う 10 段階評価 ◎「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点
福岡県	6.46	H26 県民意識 調査	◎どの程度幸せかを問う 10 段階評価 ◎「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点
糸島市	6.51	第 1 回糸島市 市民満足度調 査	◎暮らし全般についての総合満足度を問う 10 段階評価 ◎「とても満足」を 10 点、「とても不満」を 0 点

■ 4 点以下の回答割合が減少（14.0%⇒9.4%）し、7 点以上の回答割合が増加（59.4%⇒62.0%）したことにより、全体平均が前回調査より 0.22 ポイント増加した。

■ 国・県の幸福実感度と参考比較しても、国平均より 0.32 ポイント、県平均より 0.27 ポイント高い。

⇒及第点はいただいたと捉えているが、この数値に満足はしていない。

⇒長期総合計画における目標値の 7.0 点※にはまだ達しておらず、満足度を高めるためいっそう努力する。

※「市民満足度調査による行政サービスへの満足度：目標値 70%（H27）」

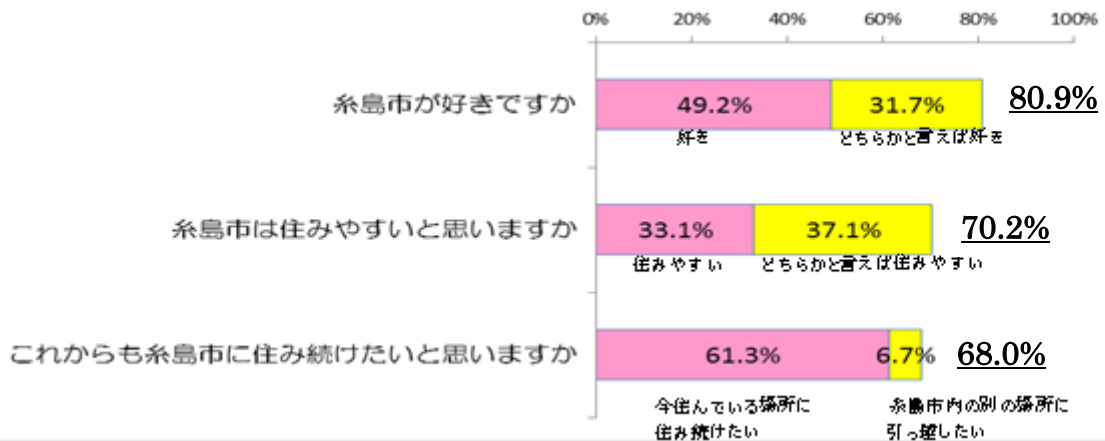
## ◆糸島市が好きか、住みやすいか、住み続けたいか

区分	第2回調査 (H26)		第1回調査 (H24)	
		「好き」との差		「好き」との差
好き※ <sup>1</sup>	80.9%	—	85.1%	—
住みやすい※ <sup>2</sup>	70.2%	10.7ポイント	77.6%	7.5ポイント
住み続けたい※ <sup>3</sup>	68.0%	12.9ポイント	72.5%	12.6ポイント

※1 「好き」「どちらかと言えば好き」の計

※2 「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」の計

※3 「今住んでいる場所に住み続けたい」「糸島市内の別の場所に引っ越したい」の計



■ 「好き」「住みやすい」「住み続けたい」と回答した人の割合は、いずれも前回調査から減少したが、依然8割以上の方が「好き」と回答した。

■ 「好き」と回答した人の割合に対して、「住みやすい」「住み続けたい」と回答した人の割合が低く、前回調査に比べてその差が大きくなった。

⇒糸島市のことが好きな市民が「より好き」になったことで、総合満足度が向上したが、「好き」と感じる市民の割合は、少し減少した。

⇒市外での糸島市の認知度向上等で地域への愛着は進んでいるが、住み続けるためには「住みやすさ」を実感できることが必要であると考えます。

### 「住み続けたい」と思う理由

①持家がある	20.8	%
②自然環境が良い	17.4	%
③食べ物が新鮮、美味しい	14.4	%
④愛着がある	10.7	%
⑤住環境が良い	8.3	%
⑥交通の便が良い	7.6	%
⑦買い物が便利	6.8	%
⑧地域の人・風習が好き	4.9	%
⑨子どもが育てやすい	3.8	%
⑩職場が学校が近くにある	3.3	%
⑪教育環境が良い	1.6	%
⑫その他	0.4	%

### 「住み続けたくない」と思う理由

①交通の便が悪い	19.9	%
②買い物が不便	16.9	%
③他の場所での生活に魅力を感じる	11.7	%
④雇用の場がない	11.0	%
⑤地域の人・風習になじめない	10.3	%
⑥住環境が悪い	8.2	%
⑦その他	7.5	%
⑧教育環境が悪い	4.7	%
⑨子どもが育てにくい	4.4	%
⑩学校や職場が遠くない	4.0	%
⑪自然環境が悪い	1.4	%

■「住み続けたい」と回答した主な理由は、自然環境の良さや食べ物が美味しいことなど、糸島市の強みである「豊かさ」に共感するものが多い。

■「住み続けたくない」と回答した主な理由は、交通の便の悪さや雇用の場の少なさなど、糸島市の行政課題を指摘するものが多く、前回調査と同じ傾向がみられる。

⇒すでにコミュニティバスの路線・料金見直しや企業誘致など、行政課題の解決に着手しているが、今後も取組を進め、市民満足度の向上とともに、定住人口の増加を図る。